經濟論叢

第192巻 第1号

論 文 クナップの貨幣国定説 古 川 顕	į 1
BtoB マーケティングのメカニズムを解明する 概念モデルに関する考察	35
査読付き論文 マテリアルフローコスト会計と補完的な手法に関する 体系的な分析と統合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Í 55
IFRS 任意適用とのれんの関連性 天 野 良 明	77
G. カッセルの景気理論 (1) 百 瀬 智 仁	103
コンセンサス形成プロセスで導かれる利潤獲得可能性 一家庭用エアコンにおける新冷媒の標準形成過程— 中原久美子・椙山泰生	125

平成 30 年 2 月

京鄰大學經濟學會

	〔京都大学経済学会	会役員〕 (五十音順)
(学会委員)	アスリ・M・H 川本田葉上仁上・M・田川本田葉上仁上・ 美	大彰織弘彦二一弘誠 大彰織弘彦二一弘誠 一葉賀生田山井 竹田千徳成西西根長 で田千徳成西西根長
(学会委員)	江 上 雅 彦 王 英 燕 岡 田 知 弘 菊 谷 達 弥	原 良 憲 久 野 愛 久 野 秀 二
(学会委員)	北 田 雅樹文 草 野澤 食 点 久 紀孝 小 島 專	久 本 憲 夫 藤 井 秀 樹 松 井 啓 之 (評議員長) 文 世 一 諸 富 徹
(学会委員) 主 任)	坂 佐 澤 塩 島 神	(学会委員) 矢 野 剛 山 内 裕 ディミター・ヤルナゾフ 憲 (学会委員) 山 田 憲 遊 喜 一 洋 劉 徳 強
(学会委員)		一

「経済論叢」執筆要領(抄)

2017年6月1日 京都大学経済学会編集委員会

- 1. 本誌には、本学会の正会員、非会員を問わず、投稿することができる。
- 2. 正会員の投稿料は無料, 非会員の投稿料は10,000円とする。 但し, 依頼原稿は投稿料を徴収しない。
- 3. 本学会評議員以外の投稿原稿については、レフェリー審査(レフェリーは1名)を行う。但し、執筆明細の指導教員の欄に署名のない者、あるいは学外投稿者は、レフェリーを2名とする。レフェリー審査に基づき編集委員会が掲載の可否((a)そのまま掲載可、(b)改訂の上、掲載可、(c)改訂の上、再審査、(d)掲載拒否)を決定する。また、レフェリー審査を受けた論文については掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
- 4. 「経済論叢」に掲載された論文等の著作権は、経済学会に帰属する。したがって、他で当該論 文等を使用する場合は、経済学会の許諾が必要になる。
- 5. 「経済論叢」に掲載された論文等は、全文データベース化し、公開する。
- 6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。A4 判横書き 1 ページ 35 字× 30 行で明瞭に印刷した原稿 2 部と、その電子ファイル 1 式(利用した OS 名、ソフトウェア名を明記すること。図表も電子ファイル化すること)を、京都大学経済学会に送付すること。
- 7. 投稿原稿にはタイトルと氏名,英文タイトル,ローマ字表記氏名,所属,住所,電話番号,Eメールアドレスおよび指導教員署名を記入した論文執筆明細(学会ホームページよりダウンロード可)を添付すること。
- 8. 原稿の字数制限は下記のようにする。

「経済論叢」 論文・24,000 字以内。

研究ノート・12,000 字以内。

書評·8.000字以内。

図版および表は1枚400字に換算する。

9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

古	Ш		顕	京都大学名誉教授
増	谷	博	昭	京都大学経済学研究科東アジア経済 研究センタージュニア・リサーチャー
若	林	靖	永	京都大学経営管理大学院教授
王			博	京都大学経済学研究科博士後期課程
天	野	良	明	京都大学大学院経済学研究科博 士 前 期 課 程
百	瀨	智	仁	松本大学予備校講師
中	原	久 美	子	京都大学大学院経済学研究科ジュニア・リサーチャー
椙	Ш	泰	生	京都大学経営管理大学院教授

平成30年2月1日印刷平成30年2月25日発行

編 集 兼 発 行 人

京都大学経済学会

発行所

京都 大 学 経 済 学 会 606-8501 京都市左京区吉田本町 振替口座01090-6-17219番

制作発売

京都大学学術出版会606-8315京都市左京区吉田近衛町69



9784814001538

ISBN978-4-8140-0153-8 C3333 ¥2380E

定価:本体 2380円(税別)



Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 192, No. 1 February 2018

CONTENTS

General Article : Knapp's State Theory of Money
Consideration on Conceptual Model to Elucidate the Mechanism of BtoB marketing · · · · · Hiroaki MASUTANI, Yasunaga WAKABAYASHI
Refereed Article: Systematic Analysis and Synthesis of MFCA (Material Flow Cost Accounting) and its Complementary Methods
Relationship between IFRS Voluntary Adoption and Goodwill ····· Yoshiaki AMANO
Cassel on Business Cycle (1)
The Profit Acquisition Possibility that is Led by a Consensus Formation Process: Standardization Process of the New Refrigerant for the Domestic Room Air-Conditioners

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)